

欄に記入してください

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

フタムラ化学株式会社 広島工場

(2) 事業所の所在地

広島県呉市広多賀谷2丁目1番2号

(3) 業種

無機化学工業製品製造業

2 計画の期間

本計画の期間は、平成26年度を基準年度とし、令和5年度から令和12年度までの8年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量（t-CO₂）、削減率（%）

温室効果 ガスの種類	基準年度 排出量(a)	目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：実排出量(d)、下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()
エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 実排出量総計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス みなし排出量							
実績に対する 自己評価							

※ 削減率(c) = ((a)-(b))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標： 生産量(t)

温室効果 ガスの種類	原単位 (a) 基準 年度 原単位	目標年度 原単位 (b) 上段：原単 位削減率 (c) 下段：削減	計画期間の実績 (上段：原単位実績(d)、下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成26年度 (2014) 平 成26年度 (2014)	令和12年度 (2030) 令和12年度 (2030)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和9年度 (2027)
起源CO ₂ エネルギー	1.97	1.66	2.81	2.56			
起源CO ₂ 非エネルギー							
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス その他		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
排出量総計 温室効果ガス	1.97	1.66	2.81	2.56			
		15.7	-42.6	-30.0	100.0	100.0	100.0
エネルギー消費 原単位 (原油換算kl)	1.51	1.40	2.20	1.39			
		7.3	-45.7	7.7	100.0	100.0	100.0
実績に対する 自己評価	2024年度は昨年より熱源供給炉が稼働でき、使用する燃料使用量が少なくなり、燃料使用原単位は改善した。しかし生産調整により生産量が少なく温室効果ガス原単位は目標より大きく未達となった。						

※ 削減率(c) = ((a)-(b))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項 目	削減量等	具体的な取組
1	節電の推進		室外機の清掃、不要時・不在時・昼休みの消灯、照明の間引き、冷暖房温度管理等 エア漏れ・照明のパトロールの実施
2	設備消費電力の削減		ポンプモーター高効率化（45 kW、75 kW）、 照明LED化
3	焼成炉消費燃料エネルギーの削減		廃熱導入エアー量の調整、廃熱導入バランス調整
4			

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種 類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組

	項 目	削減量等	具体的な取組
1	ISO14001の維持		内部監査(2回/年)・維持更新審査
2	内部監査		本社安全環境部による社内監査
3	外部研修への参加		「ポンプとファン省エネ実習」参加1名

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記載してください。